

肺動脈造影における DSA 画像の自動リマスク処理の開発

1. 研究の対象

2017年6月1日から2019年5月31日までに当院で肺動脈造影検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

本研究は名古屋大学大学院医学系研究科生命倫理委員会の承認を受けて行われます。肺動脈造影検査は、胸部領域の血管性の病気の診断や治療の際に行われることがある検査です。この検査では、息止め不良や心臓の拍動によるミスレジストレーションアーチファクトが、診断の妨げとなることがあります。改善する方法として画像1枚1枚に対して心拍動に合わせて手作業による処理(リマスク処理)を行う方法もありますが、非常に煩雑であり、時間を要してしまうという問題があります。このリマスク処理を自動化することにより、作業効率は飛躍的に向上し、治療効果判定の前処理としても期待されます。

そこで、肺動脈造影検査におけるミスレジストレーションアーチファクトを最小限にするリマスク処理を自動化することが本研究の目的になります。

研究の対象となるのは、2017年6月1日から2019年5月31日までに当院で肺動脈造影検査・血管内治療を受けられた方になります。利用する画像データ等は、匿名化をした上で DVD に保存をし、鍵のかかる場所に保管・管理をします。

研究期間は、2020年3月31日までを予定しています。研究期間終了後は、画像データが入った DVD は10年間保管をし、その後、直ちにデータ復元不可能な状態で廃棄する予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別・肺動脈造影画像・心電図波形等

4. 研究組織

研究代表者:名古屋大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 水口 貴詞

研究分担者:名古屋大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 植村 武司

研究分担者:名古屋大学医学部附属病院 医療技術部放射線部門 杉本 成人

研究分担者:名古屋大学大学院医学系研究科 肺高血圧先端医療学寄附講座 近藤 隆久

研究分担者:名古屋大学大学院医学系研究科 肺高血圧先端医療学寄附講座 足立 史郎

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、学会・論文等で既に発表されたものについては撤回できない場合もあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

名古屋大学医学部附属病院医療技術部放射線部門 水口 貴詞

〒466-8560

名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

(電話:052-741-2534)